

南小たば風通信 2018

平成30年2月22日（金） 第35号

研究の反省を行います！

来週は、最後の研究日です。1年間の反省、次年度に向けての話し合いを行います。たくさんのご意見をお願いします。当日までに、資料に目を通しておいてください。

《話し合い》 15：10～ サブルーム

1. 研究部より（15分） 「成果と課題」「次年度へ向けて」「CRTの結果から」
2. グループ討議（20分） 「児童アンケートから」

◆各ブロックでの検討事項

- ①次年度の研究内容について
- ②公開研究会・授業研・板書交流について
- ③CRTの結果から・・・課題は？
- ④その他・・・研修でやって欲しいことなど

※研究部を中心に話し合

う。

低学年	三上・星 先生・庄山（有）先生・齋藤先生・教頭先生・南谷先生
中学年	山本先生・荒谷先生・加藤先生・牛谷内先生・福山先生・校長先生
高学年	佐藤先生・島村先生・稲船先生・押見先生・増田先生・

3. 全体交流（10分：各3分程度）
4. 教頭先生・校長先生より（5分）

1. 研究の重点・主題・仮説について

- 『つきたい力』を明確にしようとし意識した授業づくり
- 国語の単元計画づくり
- △学年に応じた他者との関わらせ方の整理（話の進め方、話す内容の提示など）
- △学習評価の理論研修
- △『つきたい力』⇒児童側にも明確に！

2. 子どもの変容

- グループでの話し合いの仕方と相手意識
- 単元計画の提示⇒見通しがもて、意欲増進！
- △各学年で目指す程度の基準
- △グループ構成や意見の出し方（学年の実態把握）

3. たば風プロジェクト①(児童の実態把握)

- 児童の実態を把握するのに、アンケートは有効
- △CRT・・・もう少し遅く・・・。
- △朝読書や朝学習プリントの効果を分析・検討していく必要
- △アンケート結果をもとに、普段の授業改善を！

4. たば風プロジェクト②(「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善)

- 単元全体を見通して考えられる力
- 指導事項の明確化
- TTとの連携
- △指導事項のレパートリー
- △学習評価の理論研修

5. たば風プロジェクト③(授業研究)

- 計画的な研究授業と有意義な事後研
- みんなで創り上げる授業スタイルの確立
- △板書交流の進め方(模擬授業?指導案検討?!)
- △多忙感を解消(ゆとりを!)し効率よい授業研究
- △日時設定:研究部と教務の連携

6. たば風プロジェクト④(研究の成果とまとめ(たば風通信の発行))

- 研修会の報告
- 時間短縮
- △たば風通信のほかに、ミニ報告会も!

7. 公開研究会について

- 公開研究会の日程
- 特設授業の数
- △授業者が授業の準備だけに集中できる体制づくり

8. その他

- 充実した研修
- △早めの計画(行事の影響が・・・)
- △算数のOKJ継続

☆次年度に向けて☆

(1)研究の重点・・・研究部では、どちらかで・・・と考えましたがご意見をよろしくお願いします。

①国語の研究を継続・・・やや結果の落ちている読むことの領域に特化しての研究

②算数のOKJの継続も兼ねて「算数用語をきちんと使って説明できる力」を伸ばす研究

(2)公開研究会・授業研究について

- 公開研究会は9月初めに（低・高 1本ずつ）
- 5月に理論研修⇒6月に研究部提案授業
- 公開研の前に可能ならば、外部講師（指導主事）からのアドバイス（7月）
- ブロックでの指導案検討（2週間前）板書交流（1週間前）

(3)ゆとりをもたせるために・・・

- 低・中・高ブロックに分けて、公開研に2つのブロックから授業公開。当たらなかったブロックが、指導主事訪問で授業公開。他の学年は、A4 1枚程度の指導案で授業公開とする。
- 初任者の先生方は、いる間に最低2回は授業公開に当たるようにする。（次の学校へ行ったときに、南小で指導案書いたことがなくて・・・とならないように！）
- 初任1年目の先生は、初任者研修の一環として年間のどこかで（今回の庄山先生のように）授業をする。



《国語CRTの結果から》

2017年《国語》

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	104	105	93	101	79	98	97	91	96
書	111	110	105	109	87	90	99	92	100
読	128	98	91	106	91	102	100	98	102
言語	104	102	95	100	98	96	98	97	99

2018年《国語》

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	108	90	100	99	101	96	100	99	99
書	107	111	113	110	93	75	95	88	99
読	121	114	89	108	83	101	90	91	100
言語	103	104	110	106	95	110	101	102	104

2019年《国語》

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	116	105	103	108	116	102	97	105	107
書	116	113	115	115	117	101	97	105	110
読	130	124	109	121	126	96	93	105	113
言語	108	108	116	111	119	103	100	107	109

【成果と課題】

○授業改善が図られたことで、各領域全般の成績が向上したと考えられる。(全国平均比10ポイント以上下回っている項目がなくなった。)

○昨年後期からの朝学習の改善により、問題の答え方や各学年の内容の確実な定着が図られたと考えられる。

○年度当初からの朝読書の開始により、文章を読む力が向上したと考えられる。

▲全国比からの落ち込みは少ないが、「話す・聞く」項目が伸びきらない学年が見られ、今後も授業改善やスタンダードの徹底の必要性を感じる。

▲「読むこと」が高学年で落ち込んでいることから、低・中学年で読む力をきちんと身につけて次の学年につなげることが重要である。

《算数CRTの結果から》

2017年《算数》

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	113	105	90	103	100	106	92	99	101
技能	108	105	98	104	96	99	106	100	102
知・理	110	105	100	105	104	98	100	101	103

2018年《算数》

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	115	103	116	111	98	94	95	96	104
技能	109	108	110	109	98	95	99	97	103
知・理	116	103	119	113	95	96	101	97	105

2019年《算数》

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	128	112	107	116	114	101	91	102	109
技能	114	107	110	110	126	98	90	105	108
知・理	111	108	119	113	127	104	87	106	109

2019年《算数・領域別の全国比》～上段が2018年(前学年)のもの 下段が2019年～

算数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校平均
数と計算	—	109	105	113	94	91	102
	110	110	110	117	99	94	107
量と測定	—	110	106	112	97	92	103
	112	115	119	126	95	77	107
図形	—	124	106	116	103	97	109
	118	89	110	125	98	94	106
数量関係	—	112	103	なし	97	112	106
	128	109	なし	127	122	89	115

【成果と課題】

- 「教えて考える授業」の流れが浸透していることもあり、国語と比較すると全観点で安定した傾向が続いていると考えられる。
- 領域別では、「数と計算」「数量関係」が安定している傾向が見られる。
- ▲「教えて考える授業」の流れがどの学年もさらに身につくことで、確実な学力が身につくのではないかと考える。（さらなる授業改善を図る必要がある。）
- ▲観点別では「技能」が高学年でやや低い。基礎的な技能を身につけられるような復習が必要である。
- ▲領域別では、3つの学年で「図形」、2つの学年で「量と測定」の落ち込みが見られ、どの単元が落ち込みがあるのかを確認し、補充する必要がある。
- ▲全校的に見ると高学年の内容が難しくなることもあり、学級平均が下がる傾向にあり、残りの日数で弱いところから補充する必要がある。